

受講申込者数 434 名

会場 会員 48 名（出席 42 名）、会員外医師・医療従事者 8 名（出席 5 名）

Web 会員 221 名、会員外医師・医療従事者 157 名

（生涯教育単位申請 38 名、医療安全単位申請 90 名）

YouTube 視聴者数・最大同時接続 263 名（6/9 時点 619 回視聴）

受講者（医師、看護師、事務・医療事務、薬剤師、放射線技師、助産師、臨床検査技師）

第 1 回富山県医師会医療安全研修会

日時：2021 年 6 月 8 日（火）19：30～21：00

場所：富山県医師会館 大ホール

司会・進行 富山県医師会常任理事 村上美也子

開 会

富山県医師副会長 馬瀬大助

講 演

「COVID-19 アップデート」

国立国際医療研究センター 国際感染症センター

国際感染症対策室医長 忽那賢志先生

閉 会

富山県小児科医会長 八木信一

主催：公益社団法人富山県医師会・富山県小児科医会

- 医療安全管理のための職員研修
- 日本医師会生涯教育講座（8CC/1）
- 専門医共通講習[感染対策（必修）1単位]

《第1回医療安全研修会意見・感想等》

2021.6.8

- ・今はとにかくワクチン接種が鍵となりとても大切なんだということが改めて感じました。
- ・これまでの経験に最新の知見を加えてご講演いただき、大変参考になりました。今は目の前にある課題、ワクチン接種を粛々と進めていきたいと思います。
- ・情報をアップデートできました。
- ・よく理解できました。ワクチン接種に協力ですね。
- ・正に今、第一線で活躍の先生のお話を、聞いてありがたかったです。分かりやすく網羅されていて参考になりました。
- ・いつも SNS などで調べて、忽那先生の記事を読んでおりましたが、新型コロナウイルス感染症に関しての実際のお話を生で聴くことができ、感激しました。最先端の知識を教えていただいて勉強になりました。
- ・わかり易いご講演で、治療、ワクチンについてより理解を深めることができました。
- ・予防から治療まで covid19 の総合的な内容が簡潔に述べられよく理解できました。
- ・戦いはまだまだ続くことがよく理解できました。ワクチンと同時に治療薬の開発に期待したい。
- ・講演内容は広域を網羅してあり整理に役立ちました。
- ・ワクチン接種での抗体は終生免疫としてつづくのか、インフルエンザのように毎年接種する必要があるのか知りたい。
- ・コロナワクチンの効果が高い、感染早期収束のため、早期に国民全体へのワクチン接種必要。マスクの必要性も再確認した。
- ・世界の中での日本の COVID19 感染症の最前線からの講演には迫力を感じました。オンライン聴講者の質問を受けるシステムも検討ください。
- ・ワクチン等基本的な事の詳しい説明があり、わかりやすかった。
- ・感染の見分けが難しく、治療も確立されていない新型コロナウイルス。後遺症もあり、まずはワクチンで、集団免疫をつくり、治療薬ができればと思います。
- ・少し難しかった。潜伏期間が長いということを念頭にマスク、手洗いを徹底していきたい。
- ・新型コロナ感染者の重症化や死亡リスクについてなど、知らない事がたくさんあった。大変勉強になった。
- ・ニュースなどだけでは知り得ないことを聞いてとても貴重な時間になりました。ますます感染予防を強めて、自分や家族、友人に広めないように努力しなきゃと思いました。
- ・世界もまだまだコロナは衰えず、自分達もだんだん身近になってきました。
- ・ワクチンはとても有効だけれど、完全ではないので、接種が完了したからといって安心せず、引き続き感染防止対策を行うことが重要と改めて思いました。
- ・コロナウイルスについての知識を深めることができました。第4派も落ち着いてきているよ

うに見えるが、発症前から感染性があることを考えると、インド株もではじめているため、まだまだ感染対策は重要であることを感じた。ワクチン接種しても感染する可能性もあり、もらわない、うつさないために自らが注意して行動していかなければいけないことを改めて感じさせられた。

・発症から1年以上経過しても未だ終息なく第4波で、今なお猛威を振るっているコロナウイルスの最前線の治療や経過、現状について聞くことができ、貴重な時間でした。自覚症状がない軽症患者の治療や対策がない今、ワクチン接種の重要性を改めて感じました。富山県も高齢者の予防接種が進んできていますが、少しでも多くの人に、多くの年代に、より早い接種の機会が回ればいいなと思いますし、ワクチン接種等自分ができることがあれば少しでもと思います。

・ワクチン接種は終了しましたが、引き続き感染予防に努めたいと思います。

・感染経路は、接触感染が1割、飛沫感染が9割、マスクをする事で感染をゼロにすることはできないけれど、感染率は下げる事ができるのだと改めてマスクの大切さを認識しました。

・新型コロナウイルスはインフルエンザとは違い、症状が出ていない人が感染源を広めていることが新型コロナウイルスの恐ろしさだと分かりました。

・新型コロナウイルス感染症の疫学、症状、重症化リスク、検査など多岐にわたる講演に改めて感染予防とワクチン接種の重要性を再認識しました。発症前から感染が広まり、無症状の感染者が多い事もこの感染症の難しい所だと再認識しました。ワクチン接種をしてもマスク、換気、手洗いとできる感染予防対策を続けていこうと思います。

・PCR検査の際、検査のタイミングと検体の選択の重要性がよくわかった。

・メディアでも毎日色々な情報が流れていますが医療従事者として知っておくべきことを確認できた研修でした。

・最前線で新型コロナウイルスと戦っていらっしゃる忽那医師の貴重な講演を受講させていただきました。新型コロナウイルスの恐ろしさを痛感し、ワクチンの有効性や3密回避の重要性、飛沫や感染拡大防止の為のお互いのマスク着用の必要性を再確認しました。今日、学んだことを職場や家族、知人達と共有して話し合っていきたいと思います。

・オンラインでの研修のため安心して受講することができて良かったです。マスクをしていないときと、しているときを比較している動画が印象的でした。改めてマスクをつけることが大切だと思いました。

・オンライン講習は、移動に慌てることなく受講することができ、大変ありがたいです。

・忽那先生からのお話を参考に今まで以上に感染対策、ワクチン接種業務に邁進して参ります。

・COVID-19の起源や流行に至る経緯、インフルエンザとの比較でコロナウイルスの特徴的な経過、症状を知ることができ勉強になりました。また、年齢、肥満、性別などによって重症化リスクが異なることも理解しました。

・後遺症に関する報告や、脱毛や精子減少などの影響がみられることを初めて知り大変参考になりました。

・薬の投与についてのお話は理解が追いつかないところが多くありましたが、今後治療薬の開発はむずかしいこと、また mRNA ワクチンの効果が高いことから、収束に向けて多くの方々がワクチンを接種することが望ましいということを理解しました。

・クリニックでしっかり情報共有したいと思います。

・変異株が増えて居る中もう一度、コロナウイルスについて学ぶことが出来てよかったです。ワクチン接種後も感染対策を忘れず、日々過ごしていきたいです。

・今回の講演内容を生かして今後コロナワクチンを接種する患者さんに安心感を与えられる事務員を目指して頑張ります。

・後遺症や時期によるウイルス量の変化等はいっとも若年者層へ情報発信するべきだと思います。

・PCR検査・抗原検査・抗体検査の3つの違いについて知ることができた。それぞれに長所や短所があることがわかった。また、ワクチンの副反応については1回目よりも2回目の方が強く出ることを知り、自分自身も2回目の接種後に強い副反応が出たので統計的にもそうであることがわかった。

・コロナウイルスに関する、一般のニュースでは伝えられていないような詳しい内容を知る事ができ、とても興味深く勉強になりました。またこのような機会がありましたら参加させていただきたくと思いました。

・先生のお話を聞き、自分を含めて周りの事も考え密になる環境を作らない、その様な場所に行かない互いに蔓延させないように気をつけて行動しようとして一層思いました。

・COVID-19 と戦うようになって1年以上経過しました。未知だった感染症が多くの臨床からの研究や調査から、色々なことがわかり、治療に結び付いてきたのだと改めて感じました。これまでの期間、当院では発熱外来や PCR 検査、ワクチン接種等、構築し実働しています。そして第4波となった現在は協力病院として病床も構築しています。感染対策を行う上では最新情報を察知し基本的なことを継続し続けないと…と思います。今回の講義は少し難しく感じましたが、あっという間の90分で、聞いているうちに少しずつ理解できたと思います。忽那先生の貴重な講演を拝聴できてとても嬉しく思います。早く COVID-19 が収束に向かい、今度は是非、富山にお越しいただき直接講義を受けたいです。

・重症化しやすい因子のこと、インフルエンザではさほど気にしていなかった後遺症の発現に驚かされました。これまでのウイルス感染症とは違うのだよと気付かされました。今回のコロナに限らず、この様なことは、常に起こりうることを自覚するいい機会なのではと思います。